

広告業界について

24AS029 森山海莉

広告業界とは？

- 広告業界とは、消費者に向けて広告を発信したいお客さまクライアントに対して、ニーズに合った「広告枠」と「広告そのもの」を提供している業界
- 一つの広告ができあがるまでには多くの人に関わり、いくつもの工程を経ている。
- 一口に広告といっても、さまざまな種類がある。まずイメージしやすいのは、テレビ・新聞・雑誌・ラジオなどのマスメディアなど。

広告業務の流れの例

- 1 テレビや新聞、雑誌、屋外スペース、Webページといった「広告を掲載できるメディア」を持つ企業（媒体社）から広告枠を仕入れる。
- 2 クライアントの要望を踏まえて、広告効果が期待できる広告枠を提案する。
- 3 クライアントのニーズに合った広告を制作する。
- 4 メディアに広告を出稿し、消費者にアピールして購買などのアクションを促す。

広告業界の中で上記の流れを担っているのが、
広告代理店。広告代理店は取り扱う媒体や役割
に応じて、次ページの5つのタイプに分類できる。

広告代理店の5つのタイプ

1 総合広告代理店（広告会社）

テレビや雑誌、新聞といったマスメディアをはじめとするさまざまな広告媒体を取り扱う企業。

2 専門広告代理店

専門広告代理店は、新聞、雑誌、屋外広告、ネット広告といった特定の媒体を中心に広告を扱うことで、ノウハウ・強みを蓄積し、得意としているメディアで専門性を発揮する企業。

3 ハウスエージェンシー

ハウスエージェンシーは、特定の企業（親会社）の広告制作を専属で担っている広告代理店。

4 アドネットワーク事業者、メディアレップ

アドネットワーク事業者やメディアレップは、インターネット広告の配信や仕入れを担う企業。告主のニーズに合わせて、インターネット上にあるサイトやSNS、ブログといった複数のWeb媒体をまとめたネットワークを作る事業者。（ヤフー株式会社）

5 媒体

広告を掲載できる何らかのメディアを「媒体」と言います。代表例としては、テレビやラジオ、新聞、雑誌を合わせた「マスコミ4媒体」が有名。

広告業界の具体的な仕事内容

- **ビジネスプロデュース**

ビジネスプロデュースは、営業をはじめとするクライアントの窓口を担う仕事。

- **クリエイティブ**

クリエイティブ職は、言葉やビジュアルで人の心を動かす広告を制作する仕事。

- **マーケティング**

マーケティングは、営業の情報を基に効果的な広告プランを作る仕事。

広告業界の職種

• 営業（プロデューサー）

営業（プロデューサー）はビジネスプロデュース枠に入る職種で、広告の企画提案から制作までのすべてを統括。

• プランナー（マーケティング）

プランナーはマーケティング枠に入る職種で、広告のプランニングが主な仕事。

• ディレクター

ディレクターは、広告制作の現場監督ともいえる役割。広告全体の統括であるプロデューサーと違い、ディレクターは自らの専門的知識を生かした統括が特徴。

• コピーライター

デザイナーは、クリエイティブの枠に入る専門職。グラフィックデザイナーやWebデザイナーなどが該当し、それぞれの部門に配置される。

• データサイエンティスト

データサイエンティストは、情報科学理論を活用してクライアントの課題を解決したり、ビッグデータ・インターネット広告の効果を解析したりする仕事。

広告業はどんな人に向いている？

- コミュニケーション能力がある
- 最新情報に敏感
- 忍耐力・挑戦する気持ちが強い